

SCSC(スクスク)調査法による土壌・地下水汚染の効率的な調査技術

土壌・地下水汚染に対する社会的関心の高まりとともに、汚染の土地評価への反映や法規制の強化、さらには環境経営を支える柱としての環境会計・環境報告書の公開など、環境リスク管理の考え方が浸透しつつあります。この動きに伴い、汚染の有無や汚染状況(汚染物質、範囲、濃度等)を迅速、かつ的確に把握することが大変重要な課題となっています。

SCSC調査法は、このような問題に低コストで効率的に対応できる、画期的な汚染調査法です。

概要

SCSC調査法は、ハンドオーガーと機械ボーリングの中間に位置し、手軽で効率的なサンプリング技術として開発された機械式簡易ボーリングで、特に土壌汚染調査のために開発されました。

本調査法は、(社)土壌環境センターの「土壌・地下水に係る調査・対策指針および運用基準」中で記載されている簡易土壌調査法に相当しています。

地層汚染診断・修復簡易化(Soil Check & Cleaning Simplification Consortium)研究会によって開発された技術です。当社はSCSC研究会のメンバーです。

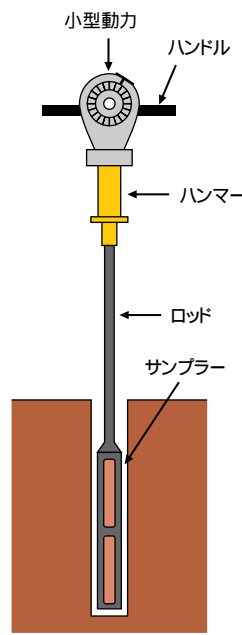
特徴

大掛かりの装置を用いることなく、地下水の豊富な地質でも迅速で信頼性の高いサンプリングができます。

従来法では対応が困難であった屋内、建物ぎわ、山中、車の出入りがある場所などでも調査が行えます。

土壌採取時は無水掘りで泥水を使用しないため、従来法と異なり正確な試料が得られます。

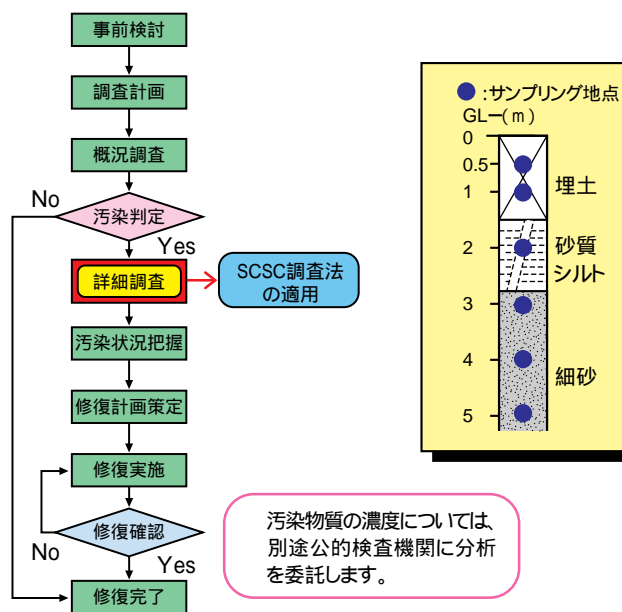
土壌サンプリングのために削孔したボウリング孔は地下水の観測井戸として活用できます。



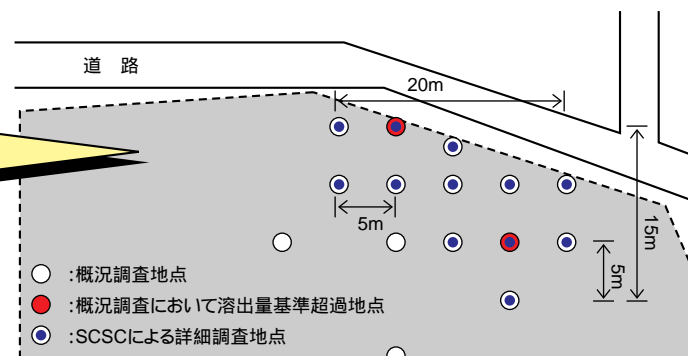
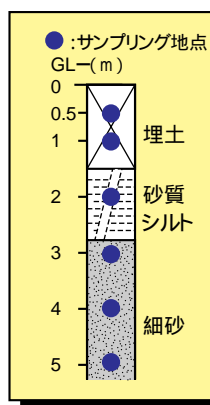
屋内における調査状況



ボーリングコアの採取状況



土壌汚染修復の基本的な流れ



工種	日付	1日目	2日目	3日目	4日目
事前打ち合わせ		+			
ボーリング地点位置出し			-		
簡易ボーリング調査			-	-	-
調査跡補修				-	

調査ボーリング12本、深度5m

SCSCによる土壌汚染調査事例

関連資料... 「土壌地下水汚染修復」 Kumagaiigumi Now 030

「A工場跡地汚染土壌・地下水修復工事」 Kumagaiigumi Now 197

「土壌環境評価・修復エンジニアリング」エンジニアリング レポートvol.4 「地質汚染とその調査技術」等

問い合わせ先... 環境事業プロジェクト部

電話 03-3235-8678 FAX 03-3235-4367